

Accuphase

STEREO PHONO AMPLIFIER

ステレオ・フォノ・アンプ

C-27

取扱説明書



ご使用前に、この「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、お客様カードと引きかえにお届けいたします「品質保証書」と一緒に大切に保存してください。

このたびはアキュフェーズ製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

最高峰のオーディオ・コンポーネントを目指して完成されたアキュフェーズ製品は、個々のパーツの選択から製造工程、最終の出荷にいたるまで厳重なチェックを行い、その過程と結果の個々の履歴は、製品全体の品質保証に活かされています。このような品質管理から生まれた本機は、必ずやご満足いただけるものと思います。

末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

3年間の品質保証と保証書

当社製品の品質保証は3年間です。付属の「お客様カード」に必要事項を記入の上、必ず(なるべく10日以内に)ご返送ください。「お客様カード」と引きかえに「品質保証書」をお届けいたします。

※「お客様カード」のご返送や「品質保証書」の発行について、詳しくは16ページをご参照ください。

※「品質保証書」はサービスサポート時に必要となりますので大切に保管をしてください。

製品に関するお問い合わせや異常が認められるときは、お求めの当社製品取扱店または当社品質保証部へ、直ちにご連絡ください。

尚、保証は日本国内のみ適用されます。

The Accuphase warranty is valid only in Japan.

マークについて

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人身事故の発生する可能性や製品に重大な損害を生じる恐れがあることを示しています。お客様への危害や、機器の損害を防止するため、表示の意味をご理解いただき、本製品を安全に正しくご使用ください。

警告

この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があり、その危険を避けるための事項が示してあります。

注意

この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が軽度の傷害を負う可能性や製品に損害を生じる恐れがあり、その危険を避ける為の事項が示してあります。

付属品を確認します

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ● 取扱説明書(本書) …………… 1冊 | ● 目隠しシール …………… 1枚 |
| ● 安全上のご注意 …………… 1冊 | ● AC電源コード(2m) …………… 1本 |
| ● お客様情報の取扱いについて …………… 1枚 | ● プラグ付オーディオケーブル(1m) …… 1組 |
| ● お客様カード …………… 1枚 | ● クリーニング・クロス …………… 1枚 |

目 次

付属品を確認します	表紙裏頁
1. ⚠警告 安全上必ずお守りください	2
⚠注意、使用上の注意、設置と接続の注意、お手入れ.....	3
2. 各部の名前	
フロントパネル (ディスプレイ部)	4
リアパネル	5
3. 接続図	6
4. 各部の動作説明	7~9
5. ご使用方法	10, 11
6. 保証特性	12
7. 特性グラフ	13
8. ブロック・ダイヤグラム	14
9. 故障かな?と思われるときは	15
10. アフターサービスについて	16

1. ⚠️ 警告 安全上必ずお守りください

ご使用前にこの『取扱説明書』と別冊の『安全上のご注意』を良くお読みの上、製品を安全にお使いください。

■ **電源は必ずAC(交流)100V、50Hz/60Hzを使用する。**

- AC100V(50Hz/60Hz)以外で使用すると、感電や火災の原因となります。

■ **電源コードは取り扱いを誤ると、感電や火災の原因となり危険です。**

- 付属の電源コード以外は絶対に使用しない。
- めれた手で電源プラグを絶対に触らない。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、本機の下敷きにしない。
- 電源コードが傷んだら、当社製品取扱店または当社品質保証部にご連絡ください。

■ **密閉されたラック等には絶対に設置しない。通風が悪いと機器の温度が上り、火災や故障の原因となります。**

■ **放熱のため、製品の周辺は他の機器や壁等から充分間隔《10cm以上》をとる。**

■ **機器の上に水などの入った容器(花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)、新聞紙、テーブルクロスなどを置かない。**

■ **火災又は感電を防止するために、雨がかかる場所又は湿気のある場所では絶対使用しない。**

■ **トップ・プレートやボトム・プレートは絶対にはずさない。内部に手などで触れると感電や故障の原因となり、大変危険です。**

■ **脚の交換は危険ですから行わない。取り付けネジが内部の部品に触れると、火災や感電、故障の原因になります。**

■ **次の場合には本体の電源スイッチを切り、必ず電源コードをコンセントから抜く。安全を確認後、当社製品取扱店または当社品質保証部にご連絡ください。**

- 製品に水や薬品などの液体がかかった場合。
- 内部に異物(燃えやすい物やヘアピン、釘、硬貨など)が入った場合。
- 故障や異常(発煙やにおいなど)と思われる場合。
- 落としたり、破損した場合。

※電源コードをコンセントから抜かないと、電源スイッチをOFFにただけでは、本機への電源供給が完全に遮断されません。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

※万一の場合、電源コードをコンセントから容易に外せるように、コードの引き回しやコンセント周りの環境を整えてください。

注意

■ 設置場所について

次のような場所への設置はさけてください。

- 通風が悪く、湿気やほこりの多い場所
- 直射日光の当たるところ
- 暖房器具の近く
- 極端に温度の低い場所
- 振動や傾斜のある不安定な場所

■ 他の機器と直接重ねて使用しない。

■ 長期間使用しないときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜く。

■ 電源スイッチのOFF直後(10秒以内)に再びONしない。ノイズ発生などの原因となることがあります。

■ 入・出力コードを接続する場合は、必ず各機器の電源を切る。

特に、RCAタイプのピンプラグをジャックから抜き差しするときは、一瞬グラウンド側が浮いた状態になるため、大きなショック・ノイズを発生し、スピーカーを破損する原因となります。

■ バランス用とアンバランス用ケーブルは、同一機種同士で接続して使用しない。アースがループになって、ノイズを発生させる原因となります。

■ レコード・プレーヤーを操作するときは、必ずプリアンプのボリュームを下げる。

特に、トーンアームからカートリッジを外したり、取り替える時、また演奏時にカートリッジを上げ下げする時は、必ずプリアンプのボリュームを下げてください。ボリュームが上がっているとショックノイズでスピーカーを破損する原因となります。

■ 入・出力端子などに接点保護剤などを絶対に使用しない。樹脂部が経年変化で破損して感電や故障の原因となることがあります。

使用上の注意

各機能のスイッチやボタンを切り替えると、ノイズ防止のため、約1秒間ミュート回路が作動して音が途切れます。

設置と接続の注意

■ アナログ・プレーヤー、トーンアーム、カートリッジなどの取付・設置・接続と使用方法は、それぞれの製品の取扱説明書を参照してください。

■ 本機は微弱な信号を扱います。パワー・アンプなど他の機器と近接して設置すると、誘導を受けてハム音(ブーンという音)を発生する場合があります。このような時は、アナログ・プレーヤーや本機の設置場所を変えて、誘導雑音がなくなる所を選択してください。

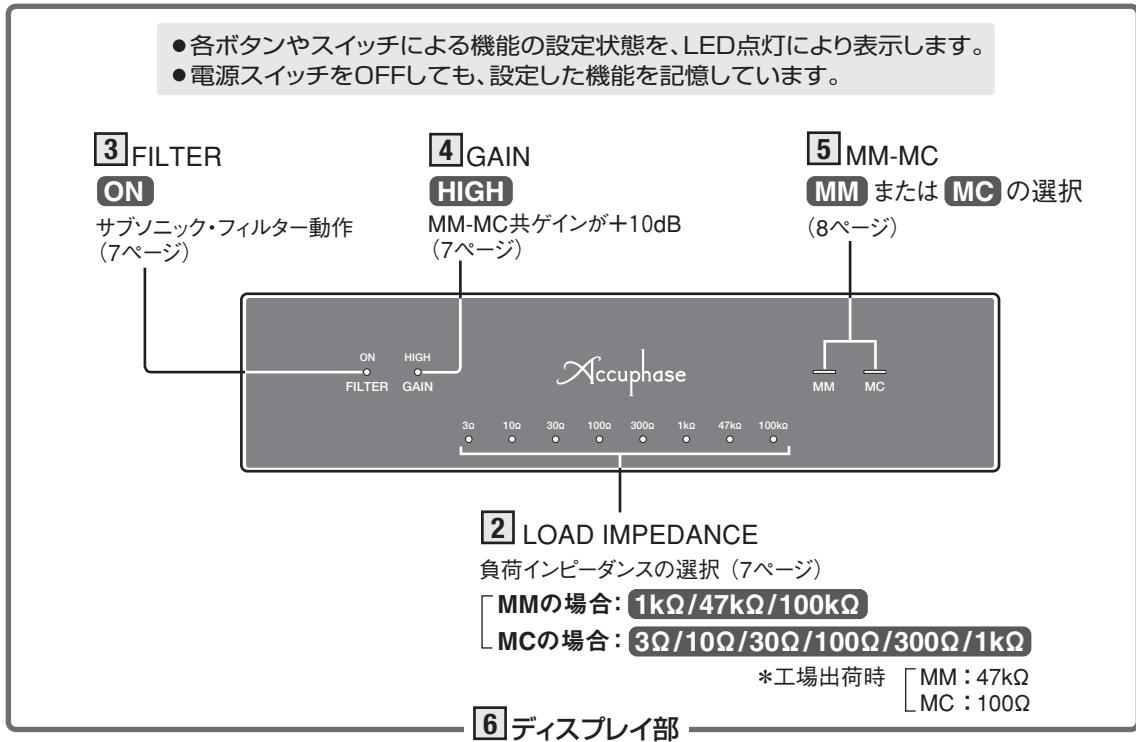
■ アナログ・プレーヤーの出力ケーブルとアース線はバラバラにならないように、束ねたり、撚り合わせるようにして本機に接続してください。また、本機や他の機器の電源コードとはなるべく離してください。

お手入れ

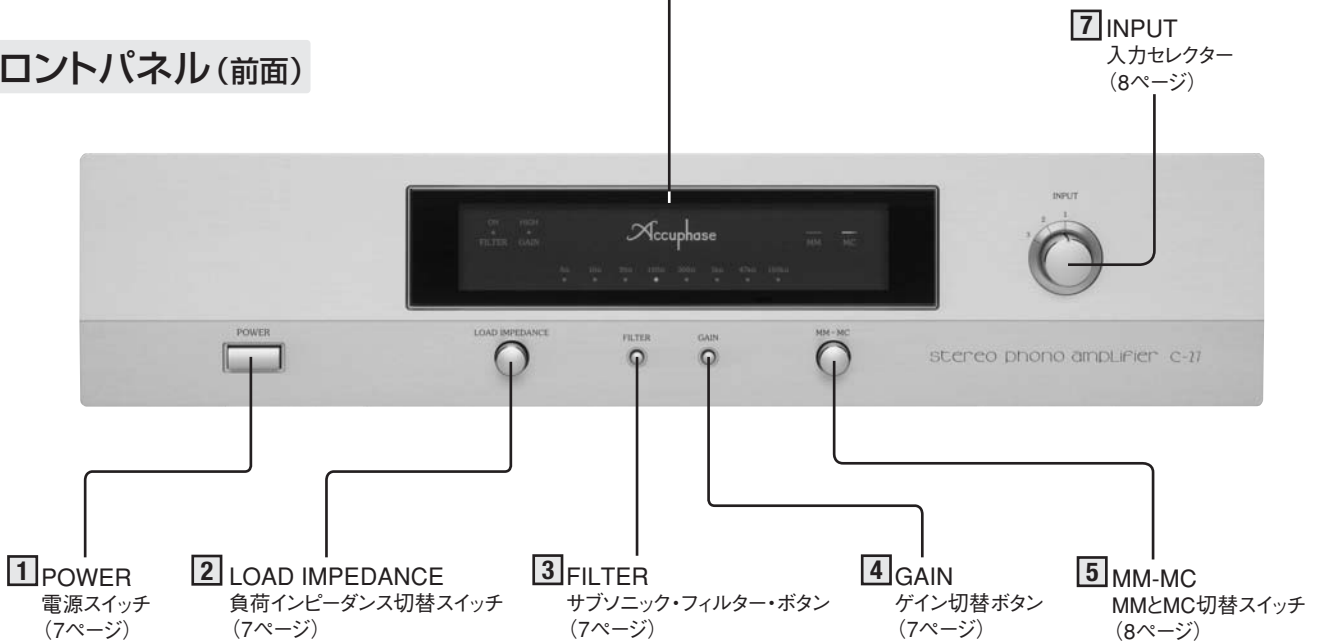
- お手入れの場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体のお手入れは、柔らかい布を使用してください。固く絞った布で水拭きし、その後乾いた布で拭いてください。ベンジン、シンナー、油、ワックス等を使用すると、表面を変色させたり、傷つけたりしますので使わないでください。
- サイド・ウッドパネルの場合、ホコリやゴミ、指紋等汚れの拭き取りには付属のクロスを使用してください。表面を傷つけることなく、きれいに拭き取ることができます。
- また付属のクロスは、洗濯して繰り返し使用できます。洗剤で洗濯後は、よく水洗いし乾いた状態でご使用ください。

2. 各部の名前

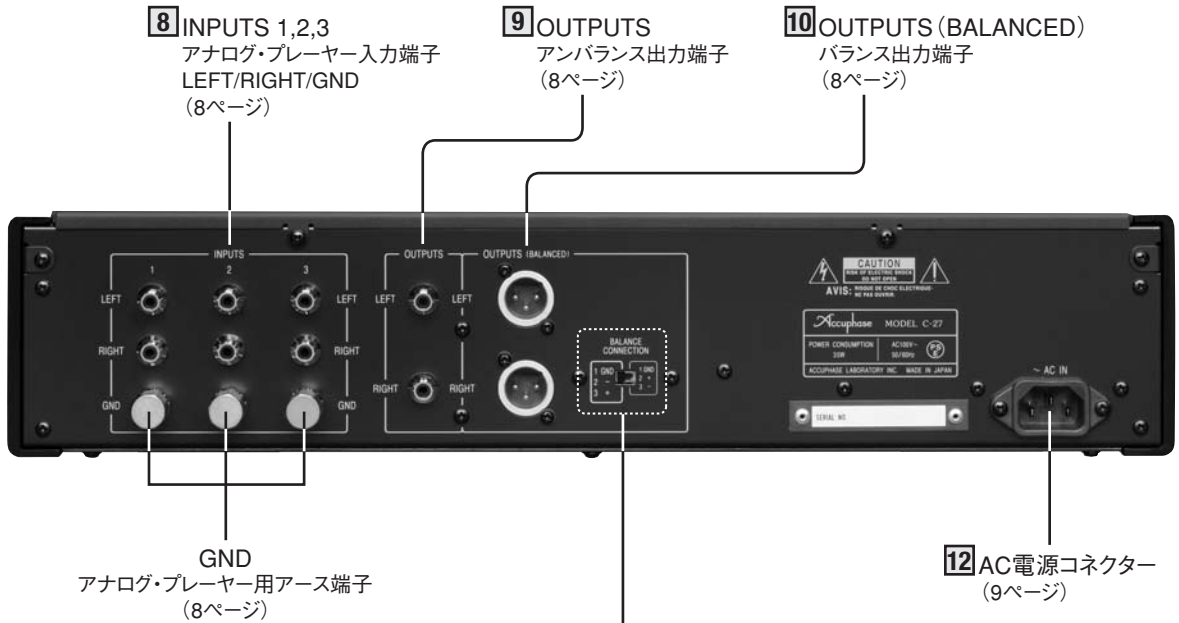
詳しい説明は「各部の動作説明」等を参照してください。



フロントパネル(前面)

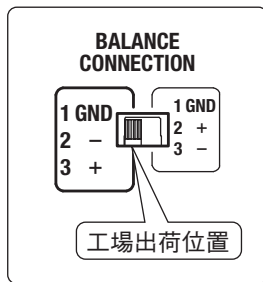


リアパネル(後面)



11 BALANCE CONNECTION

バランス出力端子の極性切替スイッチ
(9,10ページ)

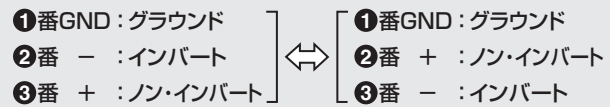


10 バランス出力端子の極性

- 工場出荷時のスイッチ位置は、図のように向って左《3番+ : ノン・インバート》側です。
- アクフェーズ製品(一部プロ機器は除く)のバランス入・出力端子は、全て《3番+ : ノン・インバート》です。

接続するプリアンプやプリメインアンプのバランス入力端子が、《2番+ : ノン・インバート》の場合のみ、スイッチを切り替えてください。

スイッチを切り替えると、バランス出力端子2番と3番の極性は、次のように変わります。

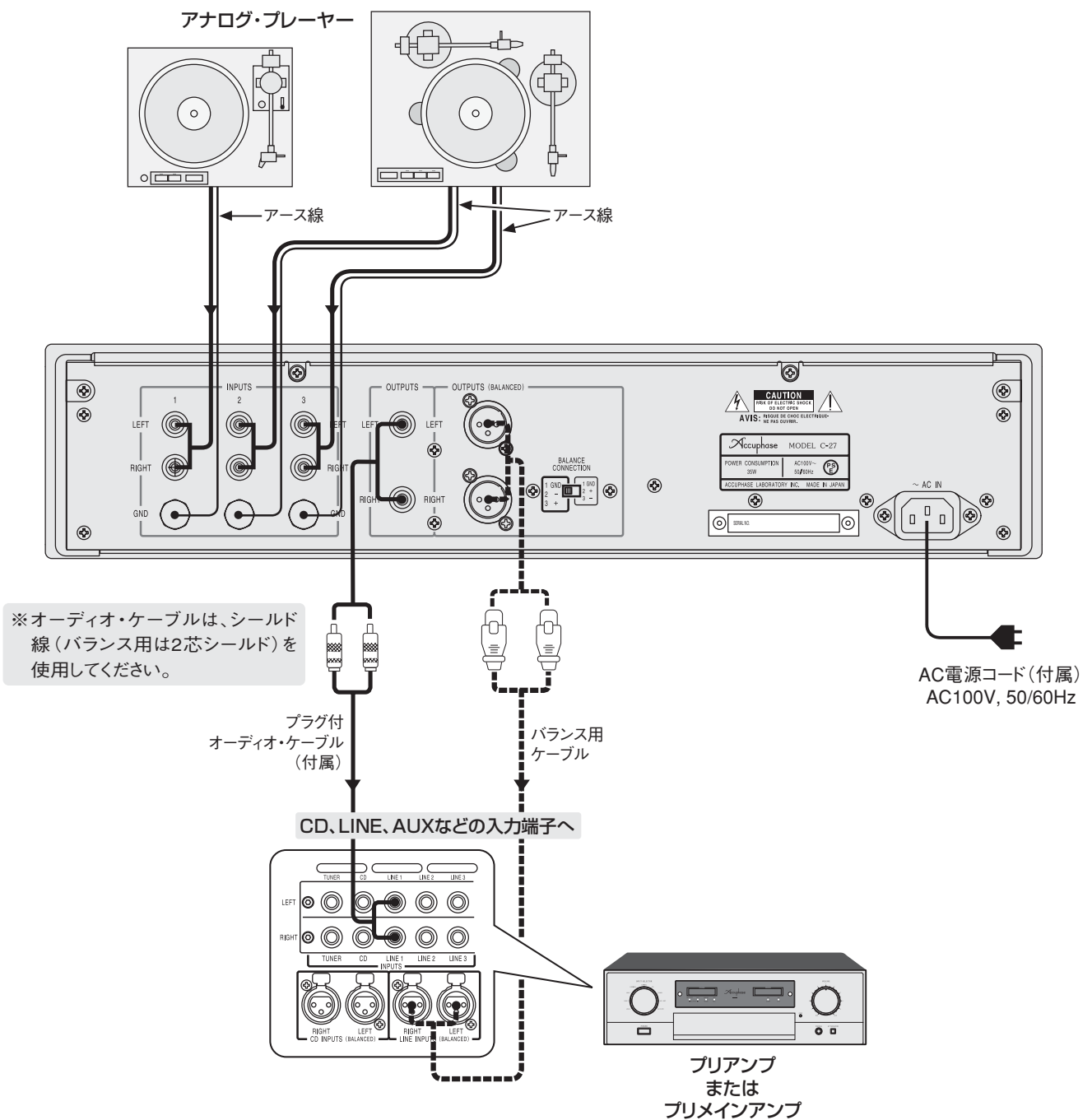


3. 接続図

⚠注意：接続するときは、必ず各機器の電源を切る。

- 注意**
- アナログ・プレーヤーの出力ケーブルは、LEFT(左)、RIGHT(右)を正しくつなぎ、プレーヤーからのアース線はGND端子に接続してください。
 - 本機の出力の接続は、オーディオ・ケーブルを使用しLEFT(左)、RIGHT(右)を正しくつないでください。
 - 同一機器同士でバランス用とアンバランス用の両ケーブルを同時に接続して使用しないでください。アースがループになって、ノイズを発生させる原因となります。

アナログ・ディスク演奏方法は10,11ページ参照



4. 各部の動作説明

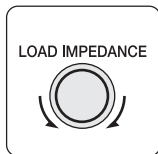
1 POWER — 電源スイッチ

押すと電源が入り、再び押すと切れます。電源を入れてから回路が安定するまで約3秒間は、ミュート回路が作動しますので出力はありません。

※電源スイッチをOFFしても、直前の設定ポジションを記憶しています。

※電源スイッチのOFF直後(10秒以内)に再びONしない。ノイズ発生などの原因となることがあります。

2 LOAD IMPEDANCE — 負荷インピーダンス切替スイッチ



MM/MCカートリッジの負荷インピーダンス(イコライザーアンプの入力インピーダンス)を切り替えます。選択されたインピーダンスのLEDが点灯します。

5 MM-MC切替スイッチによって、選択できる負荷インピーダンスの切り替え範囲が変わります。

■MMを選択している場合
1kΩ、47kΩ、100kΩ

■MCを選択している場合
3Ω、10Ω、30Ω、100Ω、300Ω、1kΩ

- カートリッジ推奨の負荷インピーダンスが表示してあれば、それに近いインピーダンスを選択しますが、実際に試聴し、好みの音質が得られるインピーダンスを決定してください。
- MMカートリッジの場合は、一般的にハイ・インピーダンス負荷にします。
- MCカートリッジの場合は、内部インピーダンスの2~3倍以上を目安にします。カートリッジに表示されている内部インピーダンス以下の値にしますと、振動系がオーバー・ダンピング(過制動)になってしまい、低域不足で中高域が細く、硬質な音になる場合があります。

※負荷インピーダンスを変えると、音量が急に大きくなる場合がありますのでご注意ください。

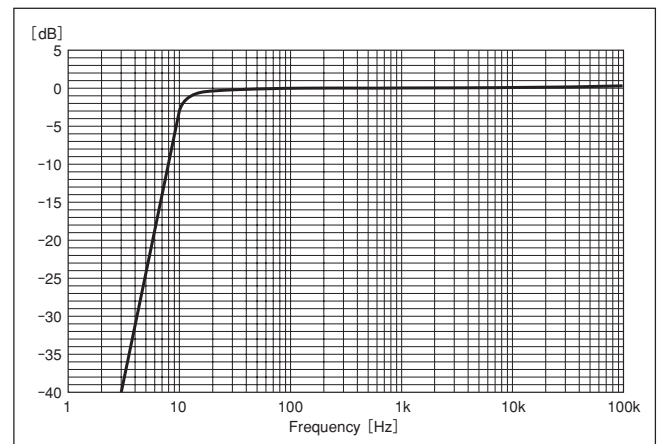
※このスイッチは、5 MM-MC切替スイッチの各ポジションに応じて記憶できるように、ロータリー・エンコーダー・スイッチ(指標がない)を使用しています。

3 FILTER — サブソニック・フィルターON/OFFボタン



- 押して『ON』 : 『FILTER』LED点灯
- 再び押して『OFF』 : 『FILTER』LED消灯

FILTERボタンは、可聴帯域外の超低域10Hz以下を12dB/octaveという急峻な特性でカットし、超低域ノイズが可聴帯域内へ悪影響をおよぼすことを防ぎます。特に、レコードに大きな反りがあったり、超低域の振動によりウーファーがゆれたりするときに大変有効です。



サブソニック・フィルター特性

4 GAIN — ゲイン切替ボタン



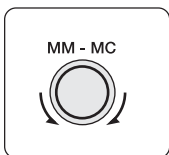
- 押してゲイン『HIGH』 : 『GAIN』LED点灯
- 再び押して『ノーマル』 : 『GAIN』LED消灯

イコライザー・アンプのゲイン(増幅度)を切り替えることができます。

出力電圧が低いカートリッジや負荷インピーダンスを低くしたとき、また実際に試聴して音量不足を感じる時には、『HIGH』ポジションにすると有効です。『HIGH』にすると、MM/MC共ゲインがそれぞれ10dB上がります。

	ノーマル		HIGH
MM	30dB	⇔	40dB
MC	60dB	⇔	70dB

5 MM-MC — MM-MC切替スイッチ



使用するカートリッジに応じて、MMまたはMCを選択し、LEDの点灯で表示します。

MM (Moving Magnet)

高出力電圧のMM(ムービング・マグネット)型カートリッジを使用するときのポジションです。

MC (Moving Coil)

出力電圧が低いMC(ムービング・コイル)型カートリッジを使用するときのポジションです。

メモ

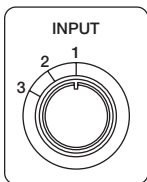
7 入力セクターの各ポジションに応じて設定が記憶できるように、ロータリー・エンコーダー・スイッチ(指標がないノブ)を使用しています。

6 ディスプレイ部

※詳細図は4ページ参照

各スイッチやボタンの動作ポジションなどを、ディスプレイ部のLED点灯/消灯により表示します。

7 INPUT — 入力セクター



リアパネル側 8 INPUTS<1, 2, 3>端子に接続したアナログ・プレーヤーまたはトーン・アームを選択します。

入力端子毎に、2 LOAD IMPEDANCE 3 FILTER 4 GAIN 5 MM/MC、各機能の設定ポジションを記憶することができ、LED点灯/消灯により表示します。

8 INPUT 1, 2, 3 — アナログ・プレーヤー入力端子

LEFT, RIGHT

アナログ・プレーヤーの出力ケーブルを、LEFT(左)、RIGHT(右)正しく接続してください。

GND — アース端子

アナログ・プレーヤーの出力ケーブルと一緒に出ているアース線を接続してください。このアース端子には、アナログ・プレーヤーのアース線以外は接続しないでください。

※アナログ・プレーヤーの接続図は6ページ参照。

9 OUTPUTS — アンバランス出力端子

通常のピンプラグ付オーディオ・ケーブルで、プリアンプの入力端子と接続します。

※接続図は6ページ参照。

10 OUTPUTS (BALANCED) — バランス出力端子

外来誘導雑音の排除能力に優れた、バランス伝送用出力端子です。プリアンプが、バランス入力コネクターを装備している場合には、良質なオーディオ信号の伝送が可能です。

- ピンの極性は、11『バランス出力端子の極性切替スイッチ』で切り替えることができます。(詳細は5ページ参照)
- バランス用オーディオ・ケーブルは当社で別売しています。

11 BALANCE CONNECTION — バランス出力端子の極性切替スイッチ

バランスでプリアンプやプリメインアンプに接続する場合、プリアンプやプリメインアンプ側の入力端子と②番/③番の極性が同じになるように、10 バランス出力端子の極性を切り替えるスイッチです。

(詳細は5ページ参照)

12 AC電源コネクター

付属の電源コードを接続します。



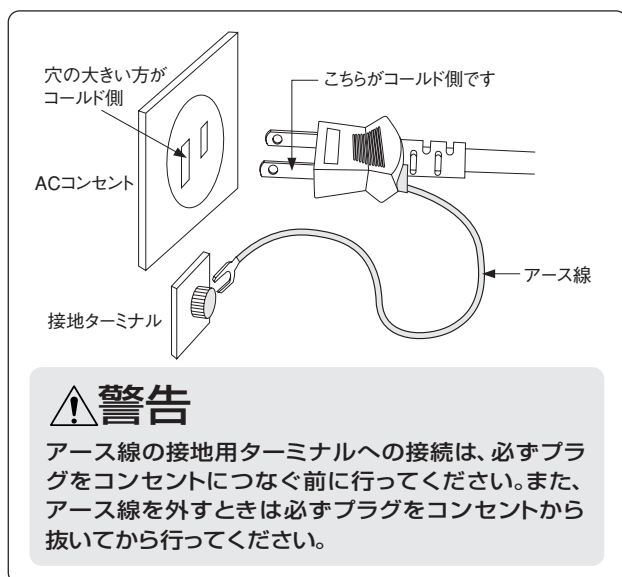
警告

電源は必ずAC100V家庭用コンセントを使用する。

■電源コードに付いているアース線の接続

付属の電源コードには、プラグ側に接地用アース線が付いています。感電防止のため、このアース線を接地用ターミナルに接続すると、より一層安全になります。

接地ターミナルの工事は、電気工事店にご相談ください。



■電源コードの極性表示

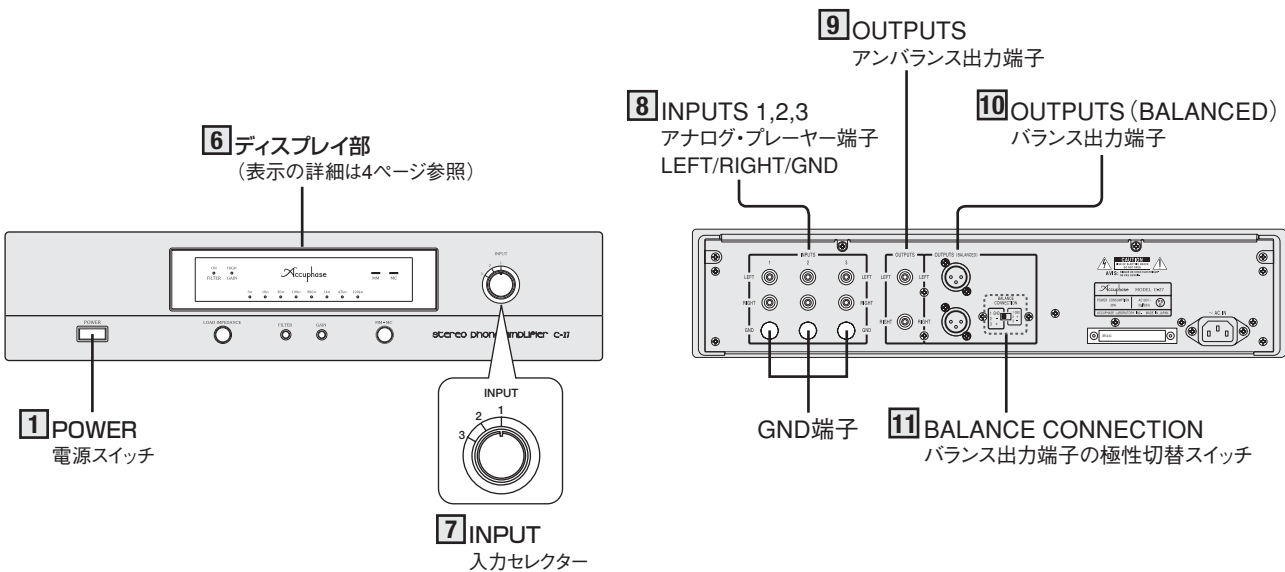
本機は、トランスの巻き方向、部品の配線など極性を管理して、電源プラグのアース線が出ている方がコールド側になっています。機器の接続を統一したい場合は参考にしてください。

注意

※室内コンセントの極性は一般に、向かって左側(穴が右に比べて大きい)がコールド側です。

※大地に対する電位は屋内配線の状況によって変化します。このためチェッカーなどを使用して測定した場合、電位が逆表示することがあります。

5. ご使用方法



- ※選択した各機能のポジションは、**6**ディスプレイ部のLED点灯により表示します。
- ※各機能の詳しい説明は、7～9ページを参照してください。
- ※アナログ・プレーヤー（トーンアーム、カートリッジ等）やプリアンプなど操作の詳細は、それぞれの取扱説明書を参照してください。
- ※演奏終了後、本機の電源スイッチをOFFにしても設定した各機能を記憶しています。

1 プリアンプやプリメインアンプのボリュームを下げます。

2 本機や接続機器の電源スイッチをOFFにします。

3 アナログ・プレーヤーの出力ケーブルを本機に接続して、本機の出力はプリアンプまたはプリメインアンプに接続します。（接続図は6ページ参照）

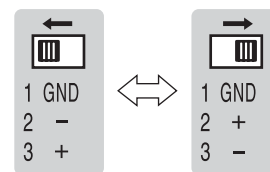
■プレーヤーのLEFT/RIGHT出力ケーブルとC-27の**8**INPUTS端子を正しくつなぎます。また、アース線はGND端子に接続します。

■本機の出力（**9**アンバランス端子または**10**バランス端子）は、プリアンプやプリメインアンプの《CD、LINE、AUX》などの入力端子に接続します。

■アキュフェーズ製品以外とバランス接続する場合は、プリアンプ側のバランス入力端子と極性の確認をしてください。（5ページ参照）

- プリアンプ側が《**2**番+》の場合は、**11**「バランス出力端子の極性切替スイッチ」で切り替えてください。
- 工場出荷位置は《**3**番+》側です。

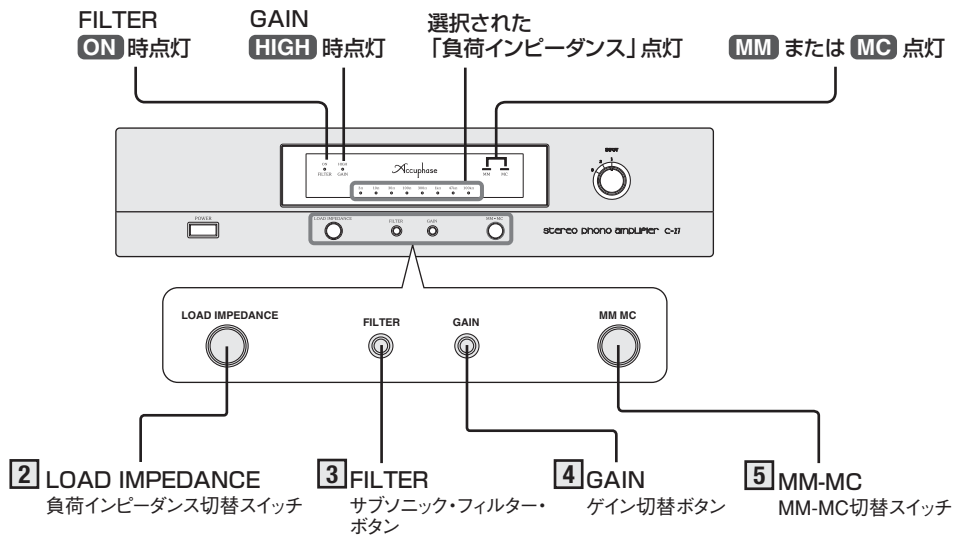
11 バランス出力端子の極性切替スイッチ



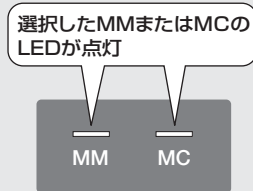
（工場出荷位置）

4 本機や接続機器の電源スイッチをONにします。

5 **7**「INPUT」（入力セレクター）で、**8**INPUTS端子へ接続したアナログ・プレーヤー《1, 2, 3》を選択します。



6 **5**「MM-MC」切替スイッチで、接続したプレーヤーのトーンアームに付いているカートリッジ（MMまたはMC）を選択します。



7 **2**「LOAD IMPEDANCE」スイッチで、使用するカートリッジに応じて、希望する負荷インピーダンスを選択します。



8 プレーヤーのターンテーブルにディスクを載せて回転をスタート、ディスク面にカートリッジ（針先）をゆっくり下ろします。プリアンプのボリュームを上げて、アナログ・ディスクを演奏します。

※レコード・プレーヤーの操作方法は、プレーヤーの説明書に従ってください。

■ お好みで、**2**「LOAD IMPEDANCE」を変えて試聴してください。

※負荷インピーダンスを変えると、音量が急に大きくなる場合がありますのでご注意ください。

■ プリアンプのボリュームを上げて音量が不足と感じる場合には、**4**GAIN切替ボタンを押して+10dB（HIGH）ゲインを上げてください。



ゲインは $\left[\begin{array}{l} \text{MM} : 30\text{dB} \Rightarrow 40\text{dB} \\ \text{MC} : 60\text{dB} \Rightarrow 70\text{dB} \end{array} \right.$

■ アナログ・ディスクの反りなどにより、超低域ノイズが問題になる場合は、**3**FILTERボタンを押してサブソニック・フィルターを入れてください。



ON時：-12dB/octave (10Hz)

6. 保証特性

*保証特性はEIA測定法RS-490に準ずる。

RIAA偏差

MM	10 ~ 100,000Hz	±0.5dB
	20 ~ 20,000Hz	±0.3dB
MC	10 ~ 100,000Hz	±0.3dB

全高調波ひずみ率

0.005%

ゲイン

*INPUT → BALANCED/UNBALANCED OUTPUT

GAINボタンOFF(ノーマル)	MM時	30dB
	MC時	60dB
GAINボタンHIGH	MM時	40dB
	MC時	70dB

入力感度(定格出力時: 1kHz, 2V)

MM	30dB時	63.2mV
	40dB時	20.0mV
MC	60dB時	2.0mV
	70dB時	0.63mV

最大入力電圧(1kHz, ひずみ率0.005%)

MM	30dB時	300mV
	40dB時	95mV
MC	60dB時	9mV
	70dB時	2.9mV

最大出力レベル(ひずみ率 0.002% 20~20,000Hz)

BALANCED/UNBALANCED OUTPUT: 8.0V

入力インピーダンス

MM時切り替え	1kΩ, 47kΩ, 100kΩ
MC時切り替え	3Ω, 10Ω, 30Ω, 100Ω, 300Ω, 1kΩ

定格出力・出力インピーダンス

BALANCED OUTPUT	2V	50Ω
UNBALANCED OUTPUT	2V	50Ω

S/N・入力換算雑音

入力端子	入力ショート (A-補正)	
	定格出力時S/N	入力換算雑音
MM: 30dB	110dB	-134dBV
MM: 40dB	102dB	-136dBV
MC: 60dB	98dB	-152dBV
MC: 70dB	90dB	-154dBV

最小負荷インピーダンス

BALANCED/UNBALANCED OUTPUT: 10kΩ

クロストーク

-90dB以上(10kHz)

残留ノイズ(A-補正)

GAINボタンOFF(ノーマル)	MM時	6μV以下
	MC時	25μV以下
GAINボタンHIGH	MM時	16μV以下
	MC時	63μV以下

サブソニック・フィルター

-12dB/octave, 10Hz

電源

AC100V 50/60Hz

消費電力

35W

最大外形寸法

幅465mm × 高さ121mm × 奥行405mm

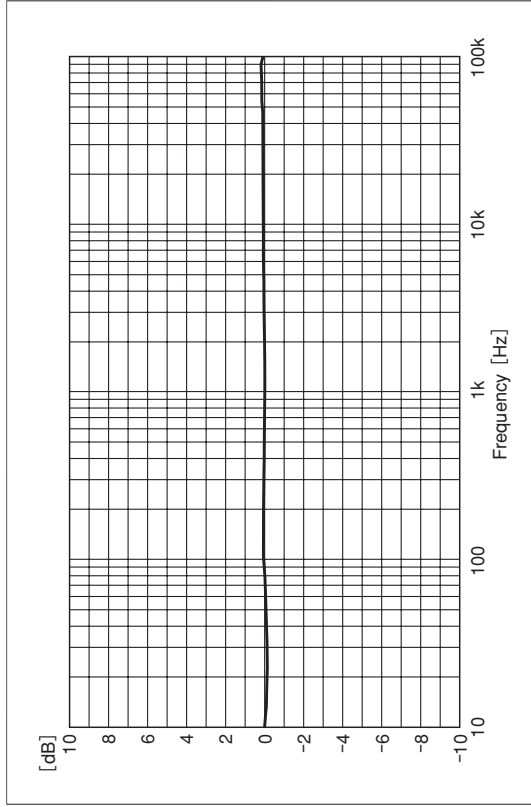
質量

14.5kg

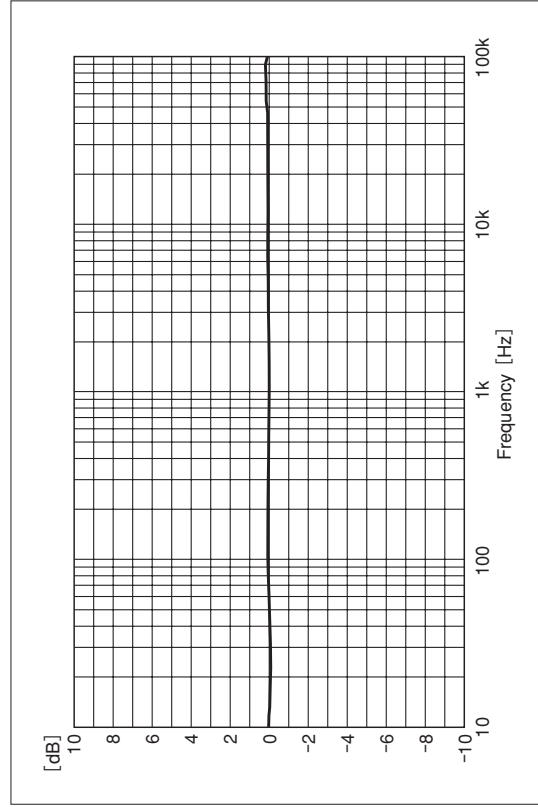
●本機は「JIS C-61000-3-2 適合品」です。

JIS C-61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第3-2部: 限度値—高調波電流発生限度値(1相あたりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

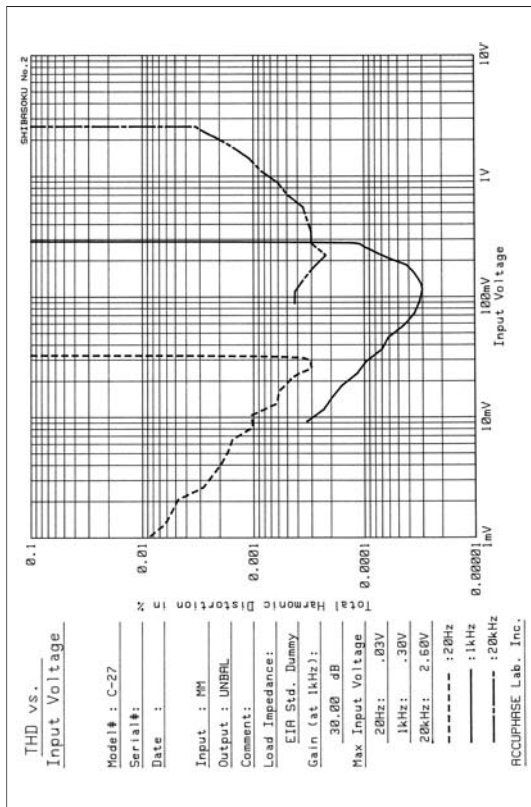
7. 特性グラフ



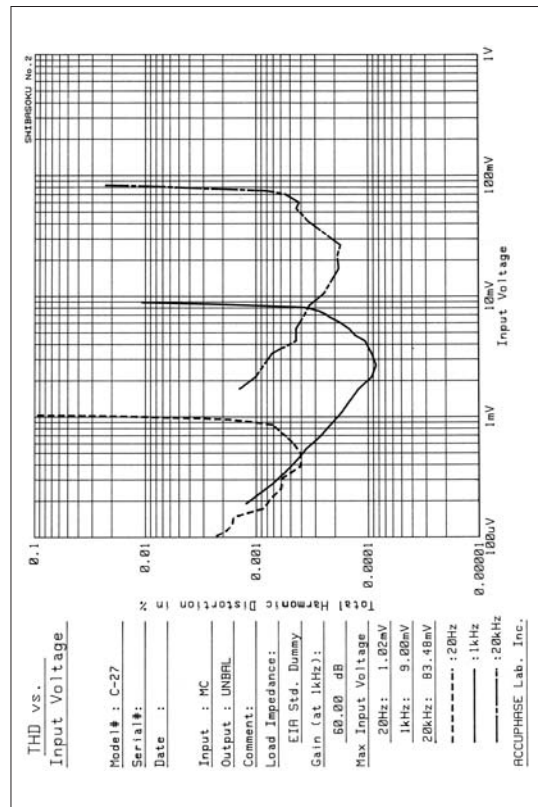
RIAA偏差：MMアンプ



RIAA偏差：MCアンプ

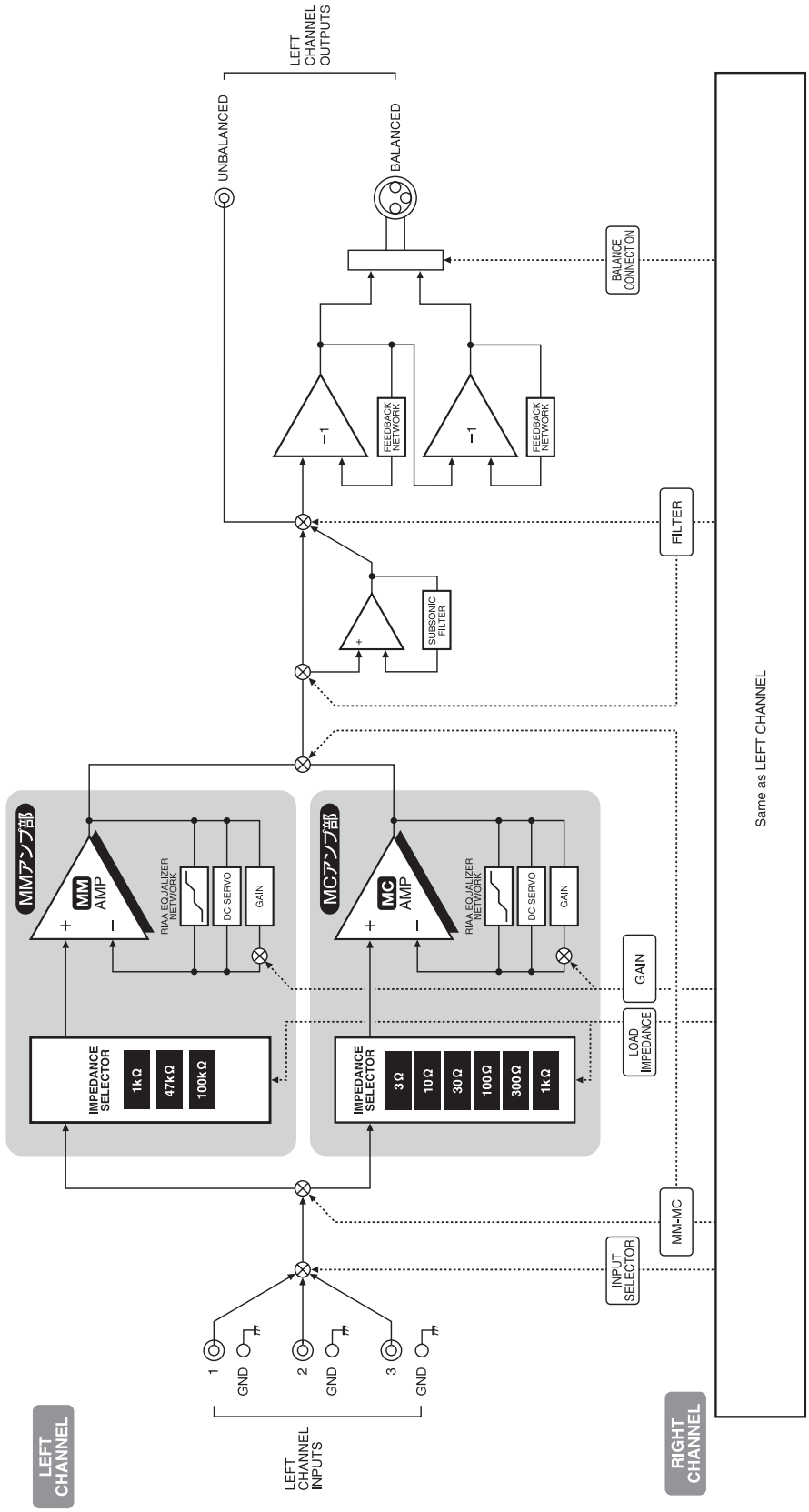


入力電圧／全高調波ひずみ率特性 (MM)



入力電圧／全高調波ひずみ率特性 (MC)

8. ブロック・ダイアグラム



9. 故障かな？と思われるときは

故障かな？と思われるときは、修理を依頼される前に、下記の項目をチェックしてください。
これらの処置をしても直らない場合には、当社製品取扱店または当社品質保証部にご連絡ください。



注意：接続を変える場合には、必ず各機器の電源を切る。

電源が入らない

- 電源コードが抜けていませんか。

音がでない

- レコード・プレーヤー、プリアンプなどの接続機器の電源は入っていますか。
- 接続コードは正しく接続されていますか。
- 本機やプリアンプなどの入力切替スイッチの位置を確認してください。
- カートリッジとヘッドシェルは正しく接続されていますか。

片側のスピーカーから音が出ない

- 接続コード、スピーカー・コードは正しく接続されていますか。
- プリアンプなどのスイッチ類は正しい位置ですか。
(音量バランスの位置など)
- 本機とプリアンプ間の接続コードを左右入れ替えてください。
 - ┌ 同じ側から音がでない …… プリアンプ側に原因が考えられます。
 - └ 左右逆の状態になる …… 本機やアナログ・プレーヤーに原因が考えられます。
- 次に本機への入力接続コードを左右入れ替えてください。
 - ┌ 同じ側から音がでない …… 本機に原因が考えられます。
 - └ 左右逆の状態になる …… 入力コードやアナログ・プレーヤー側に原因が考えられます。

ハム音が出る

- レコード・プレーヤーからのアース線は正しく接続されていますか。
- パワー・アンプなど他の機器と近接して設置している場合は、ハム音が出ないように離して設置してください。
- アナログ・プレーヤーの出力ケーブルとアース線は、束ねるようにして接続し、電源コードから離してください。

10. アフターサービスについて

保証書

- 保証書は本体付属の「お客様カード」の登録でお送りいたしますので、当社品質保証部に必ずご返送ください。
- 「お客様カード」の「お客様情報欄」には付属の「目隠しシール」を貼ってご返送ください。
- 保証書の記載内容により、保証期間はご購入日から3年間です。
- 「お客様カード」の登録をされていない場合、購入日は当社からの出荷日が適用されます。
- 保証書登録は付属の「お客様カード」で行われますが、購入が不適切な場合は登録できないことがあります。
- 保証書がない場合には、保証内修理をお断りする場合があります。よくお読みのうえ、大切に保存してください。
- オプション・ボードやオプション・ユニットには「お客様カード」は付属していません。

保証期間が過ぎてしまったら

- 修理によって性能を維持できる場合には、ご希望により有料で修理いたします。
- 補修部品の保有期間は経済産業省指導により、製造終了後最低8年間となっています。使用期間が相当経過している場合には、当社品質保証部にお問い合わせください。



注意

保証期間以降、長期に渡って安全にご使用いただくために、当社での定期的な点検を行ってください。内容については当社品質保証部にご相談ください。

その他

- 改造されたものは修理ができませんのでご了承ください。
- 本機の故障に起因する付随的損害(営利的使用に関する諸費用、使用により得られる利益の損失等)については補償できません。
- AC100V以外(海外)では使用できません。
- **保証は日本国内のみ適用されます。**
The Accuphase warranty is valid only in Japan.

お問い合わせは

- ご質問、ご相談、当社製品取扱店のご案内などは、下記の当社品質保証部へお願いします。

アキュフェーズ株式会社 品質保証部
〒225-8508 横浜市青葉区新石川 2-14-10
TEL 045(901)2771(代表)
FAX 045(901)8995

- 修理のご相談は、お買い求めの当社製品取扱店へお願いします。
- 当社のホームページ上でも修理の問い合わせが可能です。
<http://www.accuphase.co.jp/>

修理依頼の場合には

- “故障かな?と思われるときは”をご確認後、直らない場合には、電源プラグをコンセントから抜き、当社製品取扱店に修理を依頼してください。

次の内容をお知らせください。(保証書参照)

- モデル名、シリアル番号
- ご住所、氏名、電話番号
- ご購入日、ご購入店
- 故障状況:できるだけ詳しく

※梱包材は、輸送時に必要となりますので、保管しておいてください。



ACCUPHASE LABORATORY, INC.

アキュフェーズ株式会社

横浜市青葉区新石川2-14-10

〒225-8508 TEL (045) 901-2771(代)

<http://www.accuphase.co.jp/>